

胃がん検診にピロリ菌検査の導入を

質問者 小川 龍 美

わが国では、年間5万人が胃がんによって亡くなっている。胃がんの原因は、95%がピロリ菌の感染によるものといわれており、ピロリ菌の除菌が胃がん予防につながる。

日本では、50歳以上で約6割の人がピロリ菌に感染しているといわれている。現在、町では胃がん検診としてバリウム検査が行われているが、がん予防には、ピロリ菌の感染と胃の萎縮度を調べる胃がんハイリスク検査を取り入れるべきと考えるが、所見を伺う。